

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

## 2 招集について

- (1) 招集所は、主競技場第2コーナー(1500mスタート付近ゲート)外側付近に設ける。
- (2) 招集開始・完了時刻は、その種目の競技開始時刻を基準として下記のとおりとする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
跳躍競技(棒高跳除く)	50分前	40分前
棒高跳(男子)	80分前	70分前
棒高跳(女子)	60分前	50分前
投てき競技(砲丸投除く)	50分前	40分前
砲丸投	40分前	30分前

### (3) 招集方法

- ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ユニフォーム・ナンバーカード・スパイク・商標の点検を受ける。また競技区域への持込物品等について確認を受ける。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が「2種目同時出場届」を1種目目の招集完了時刻までに届け出る
- ③ リレー競技に出場するチームは、所定の招集所に用意した「リレーオーダー用紙」(複写4枚綴)に記入し、招集完了時刻の1時間前まで招集所に提出する。予選では1部提出、3部を控えとして受け取り、決勝では控えに加筆し変更の有無に関わらず提出する。
- ④ 出場種目を棄権する場合は招集開始時刻までに「棄権届」を招集所に提出する。
- ⑤ 提出する書類については招集所に準備をしている。

## 4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは2枚配布する。(競技規則143条7・8)
- (2) 腰ナンバー標識について
  - ① トラック競技に出場する競技者は、配布された腰ナンバー標識をパンツの右側(サイド中央から後方寄り)につける。
  - ② 4×100mR、4×400mRは、第4走者に腰ナンバー標識2枚が配布され、左右両方につける。
  - ③ 4×400mRでは、第2・3走者は左側に腰ナンバー標識をつける。
- (3) 特別ナンバーカードについて  
以下の種目では、特別ナンバーカードと腰ナンバー標識を使用する。(招集所で配布する)  
5000m、10000m、5000mW、3000mSC
- (4) 跳躍競技に出場する競技者は、ナンバーカードを胸または背につけるだけでよい。

## 5 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から係員の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は競技役員の指示に従い退場する。なお、1位から3位の競技者は室内走路表彰控え場所(スタンド下)に直ちに集合する。

## 6 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順番による。
- (2) トラック競技の決勝でのレーン順は、競技場正面付近の掲示板、招集所付近の掲示板に表示する。
- (3) タイムにより次のラウンドに進出する競技種目は、競技規則167条2によって決定する。(同記録者がある場合は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決まらない場合は抽選とする。)

## 7 競技について

### (1)トラック競技について

- ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
- ④4×100mRの第2・3・4走者は各自用意したマーカー(粘着テープ)を使用することができる。レース終了後は第1・2・3走者がチームのマーカーを取り除くこと。
- ⑤4×400mRにおける第3・4走者は審判員の指示に従い、第2曲走路入り口(黄色旗)を通過した順序で、内側から並び待機すること。
- ⑥男女10000m、男女5000mW に制限時間を設ける。制限時間内にラスト1周に入らなかった場合は競技を打ち切る。

男子 10000m	女子 10000m	男子 5000mW	女子 5000mW
35分	43分	27分	32分

- ⑦スターターの合図は英語とする。(「 On your marks 」、「 Set 」)
- ⑧不正スタートについては競技規則第162条7の日本陸連主催大会に準ずる。

### (2)フィールド競技について

- ①投てき種目の計測は光波測定器を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。
- ②走高跳を除く跳躍種目及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで使用することができる。走高跳の競技者は、助走路内に主催者が用意したマーカー(粘着テープ)を2個までおくことができる。サークルで行う投てき種目は、マーカーを1つだけ使用することができる。
- ③棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を「アップライト申告書」に記入し、招集完了時刻まで招集所に提出する。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
- ④フィールド競技における競技場内での練習は競技役員の指示に従う。
- ⑤三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの位置に設置する。

## 8 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次のとおりとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m85/2m00	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cm
	女子	1m45/1m60	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	3cm
棒高跳	男子	4m20/4m50	4m30	4m40	4m50	4m60	4m70	10cm
	女子	2m10/3m00	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	10cm

- (2) 棒高跳の公式練習はゴムバーを使用する。

## 9 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストにない投てき物の持ち込みは認めるので、希望者は各種目招集開始時刻 20 分前までに大会庶務係に口頭で申し出る。その後、持ち込む投てき用具は担当の競技役員の検査を受け、検査に合格した投てき用具については、一括借り上げて参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後に返却する。競技者個人の用具は、練習用といえども競技区域内に持ち込むことは禁止する。

## 10 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクの長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクの数は、11本以内とする。

## 11 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は競技場正面付近の掲示板で掲示する。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内(同一日に次のラウンドが行われる場合には 15分以内、それ以外は30以内)に、競技者自身または代理人が、総務を通じ審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、総務を通じてジュリーに文書で申し出る。

## 12 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位までの競技者は、正面スタンド前で表彰を行う。
- (2) 各種目の1位にはトロフィーと賞状、2位～3位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 県対抗総合1位～3位、男子総合1位～3位、女子総合1位～3位  
男子トラック競技1位～3位、女子トラック競技1位～3位  
男子フィールド競技1位～3位、女子フィールド競技1位～3位を表彰する。

## 13 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

## 14 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣は、メインスタンド内更衣室を利用できる。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物については庶務係で保管する。保管期間は、本競技会終了までとする。
- (7) 記録はその都度放送発表するが、競技場正面付近に設置する記録掲示板と大会速報携帯 QRコードで行う。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、庶務係に申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出、展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」にもとづく。
- (10) 送付された棒高跳ポールの受け渡しは、庶務係で指示する。また、棒高跳ポールの返送(有料)は、競技終了後、庶務係(競技場正面玄関内)に申し出ること。

※業者の集荷日時 8月19日(土) 14～16時

20日(日) 13～15時

集荷業者:佐川急便

上記で示した「着払い・集荷日時」以外での対応はお受けできません。

- (11) 提出書類は次の通りとする。

提出書類	提出場所	提出時刻
棄権届	招集所	招集開始時刻まで
リレーオーダー用紙	招集所	招集開始時刻 1 時間前まで
アップライト申告書	招集所	招集完了時刻まで
2種目同時出場届	招集所	先に出場する種目の招集開始時刻
記録証明書交付願	庶務係	各競技終了後随時(500円)



# 第44回東北総合体育大会陸上競技大会

## 【競技場・練習会場使用についての注意事項】

### 1 主競技場の開場・閉鎖時刻

	8月18日(金)	8月19日(土)	8月20日(日)
開場	12:00	7:00	7:00
閉鎖	17:30	18:00	17:00

### 2 競技場・補助競技場・投てき練習場の使用について

- (1) 練習については、競技役員の指示のもと、プログラム「練習会場使用日程」にしたがって、安全に留意して行ってください。
- (2) 競技場・補助競技場・投てき練習場での練習の際は、競技役員の指示で行ってください。
- (3) 雨天走路での練習は、原則として禁止する。
- (4) 練習会場には、選手・監督・コーチ以外は立ち入らないでください。

### 3 テント設営について

- (1) 競技場周辺芝生部分はテント設営可能。メインスタンドに、テントは設営しないでください。
- (2) テントは、大会前日より設営可能。それ以前に設営してある場合は、撤去いたします。
  - ① 主競技場内芝スタンドは、12:00から設営可能。
  - ② 主競技場外の芝生部分は、12:00 以前から設営可能。
  - ③ 主競技場内において、通路を妨げての設営、フェンスに紐を結びつけての設営はやめてください。
  - ④ 競技終了後、その都度テント・ブルーシートはたたみ、飛ばされないようにお帰りにしてください。

### 4 横断幕・のぼりについて

- (1) 横断幕は、メインスタンド最上段・芝スタンドフェンスに設置してください。競技を行う上で支障があるときは、取り外してもらうこととする。
- (2) 横断幕は、1校1枚でお願いします。
- (3) のぼりは、芝スタンド後ろのフェンスに設置してください。

### 5 競技用具について

- (1) 競技用具は、用具庫から勝手に持ち出さないでください。
- (2) 投てき練習場での練習用具は各校で準備してください。

### 6 駐車場について

- (1) 「県立中央公園スポーツゾーン駐車場案内図」に指定されている駐車場に駐車してください。
- (2) 指定場所以外の駐車、道路上の駐車は絶対しないようにご協力ください。

### 7 ゴミ処理について

- (1) ゴミは、各校(各自)でゴミ袋を準備し、持ち帰ることを原則としますのでご協力ください。
- (2) ゴミについては、燃えるゴミ、ペットボトル、燃えないゴミ(ビン・カン)に分別し、各校で準備したゴミ袋に入れて袋の口をしっかり結び、ゴミを処理することができる。ゴミ置き場は、正面スタンド外。

## 8 その他

- (1) 置き引き、盗難等の発生する恐れがあるので、貴重品の管理は、各校の責任で十分注意してください。荷物を置いたまま、その場を離れることは絶対にしないでください。
- (2) 女性競技者が安心して競技に打ち込めるよう、カメラ撮影禁止エリアを設けております。不審に感じられる行為にはくれぐれもご注意ください、会場全体で盗撮防止にご協力ください。
- (3) 競技場規則及び監督会議でも申し合わせ事項に従い、ルールとマナーを守ってください。

## 練習会場使用日程表

### ◎主競技場の練習について

	トラック種目	跳躍種目	投てき種目
8月18日(金)	12:00~17:00		練習禁止
8月19日(土)	7:00~8:30		
8月20日(日)	7:00~8:30		

- (1) 主競技場のレーンの使用区分については、次のとおりとする。ただし、当日の競技種目により区分を変更する場合もある。各レーンとも、第4コーナーからホームストレートへの交点付近は危険なので特に注意する。

#### <主競技場のレーンの使用区分>

- ① 周回1~2レーンはタイムトライアル用
- ② 周回3~5レーンはリレーのバトンパスを含めた流し用
- ③ 第1曲走路からバックストレートの6~9レーンは400mH
- ④ ホームストレート3~5レーンは短距離(2日目は3~9レーンが短距離)
- ⑤ ホームストレート6~7レーンは100mH(2日目は短距離)
- ⑥ ホームストレート8~9レーンは110mH(2日目は短距離)

- (2) スターティングブロックやハードルなど練習に必要な用具は各自設置し、責任をもって片づける。

### ○主競技場において、次の点に留意してください。

- ① ミニハードル、ラダー等の用器具を用いた練習は禁止とする。
- ② レーン内で体操、ドリル、トレーニング等の練習は禁止とする。
- ③ レーンの逆走は禁止する。
- ④ レーン内の歩行はできるだけ避ける。
- ⑤ レーン内で立ち止まらない。
- ⑥ レーンを横断する際は、左右を確認し駆け足を原則とする。

### ◎補助競技場の練習について

	トラック種目	跳躍種目(棒高跳除く)	投てき種目
8月18日(金)	12:00~17:00(棒高跳除く)		練習禁止
8月19日(土)	7:00~18:00(棒高跳除く)		
8月20日(日)	7:00~15:00(棒高跳除く)		

- (1) 補助競技場のレーンの使用区分については、次のとおりとする。ただし、当日の競技種目により区分を

変更する場合もある。各レーンとも、第4コーナーからホームストレートへの交点付近は危険なので特に注意すること。

**※主競技場とレーンの数に違いがありますので、ご注意ください。**

＜補助競技場のレーンの使用区分＞

- ① 周回1～2レーンはタイムトライアル用
- ② 周回3～6レーンはリレーのバトンパスを含めた流し用
- ③ 第1曲走路からバックストレートの7～8レーンは400mH
- ④ ホームストレート3～6レーンは短距離
- ⑤ ホームストレート7～8レーンは100mH(2日目は短距離)
- ⑥ ホームストレート9～10レーンは110mH(2日目は短距離)

(2) スターティングブロックやハードルなど練習に必要な用具は各自設置し、責任をもって片づける。

(3) 跳躍種目の棒高跳は、補助競技場での練習はできません。

○補助競技場において、次の点に留意してください。

- ① 補助競技場フィールド内の芝のみ、ミニハードル、ラダーおよびドリル、トレーニング等の練習を認める。
- ② 用器具を用いてのアップや練習、ドリル、トレーニング等の練習は、レーン内の使用を禁止とする。
- ③ レーンの逆走は禁止する。
- ④ レーン内の歩行はできるだけ避ける。
- ⑤ レーン内で立ち止まらない。
- ⑥ レーンを横断する際は、左右を確認し駆け足を原則とする。

◎投てき練習場の練習について

	投てき種目			
	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
8月18日(金)	12:00～16:30	12:00～14:00	14:00～15:30	15:30～17:00
8月19日(土)	7:00～17:00	男7:00～ 8:40 女8:40～10:40	男10:40～12:40 女12:40～14:40	14:40～17:00
8月20日(日)	7:00～11:50	練習禁止	練習禁止	男7:00～ 8:40 女8:40～11:10

(1) 投てき練習については安全面に十分配慮し、各団体の監督の責任において行ってください。

(2) 投てき練習は、記載した時間以外は認めないので時間に留意してください。

○投てき練習場において、次の点に留意してください。

- ① 投てき練習の際は、周囲の安全を確認してから投げること。
- ② 投てき物は、各自で準備すること。
- ③ 代理人による順番待ちは禁止とする。